

竹山修身堺市長と タウンミーティング開催

堺はひとつ！健康・笑顔日本一の町・堺へ



7月27日、同仁会本部3階会議室にて、医療介護まちづくりの会が主催するタウンミーティングに、竹山修身堺市長が来訪されました。

今年の9月10日告示、24日投票で行われる堺市長選挙に、3選をめざす竹山修身市長は、大阪維新の会が進める大阪都構想に反対し、堺市長に就任してからの実績

を熱く語られました。

竹山修身市長のこれまでの実績は、堺市民のために身を切る改革を自ら実践し、インフラ整備や歴史・文化、伝統産業等を守り抜く政策を着実に実践されています。

そして大阪都構想が実現されると、堺市は廃止・分割され、歴史と伝統のある自治都市・堺は解体され、郷土を愛する心や誇りが無くなってしまう。

「そんなことは絶対に許さない！」の熱い思いが、日々忙しい市長業務の中、連日のように各地域に自ら足を運び、市民と対話する「タウンミーティング」という形で、堺を愛し、堺を守る竹山修身市長の姿勢がひしひしと伝わってきました。

しめくりに花束贈呈、斎藤和則理事長と



【ジャック・パイエ師範 ご紹介】

開祖植芝盛平師の高弟の一人、故 塩田剛三氏（合気道養神館創始者）の内弟子として合気道を修業。1980年にフランスから初来日。その後続けて5年間養神館本部道場で内弟子として修業し、後、ヨーロッパ、カナダに渡り、1990年再び内弟子として3年間、故 塩田剛三氏の下でさらに研鑽を重ねる。外国人としては唯一の通算8年間の内弟子経験者でもある。また、内弟子時代には警視庁機動隊指導、フランス・ミッテラン大統領来日の折、SPに参加するなど貴重な職務をこなしました。

2008年に京都にて「無限塾」を設立し、現在も京都での活動を中心に、世界各国を廻り、セミナーなどを開催している。

- ◆日程 9月21日(木) 18時～
- ◆場所 みみはらホール (耳原病院隣接)
- ◆無限塾代表、養神館合気道7段師範

健康合気道を学びませんか

体幹を鍛えて強い足腰をつくり心身の健康づくりへ

耳原総合病院・異文化コミュニケーションカンファレンス
フランス人合気道師範・ジャックパイエ氏の指導で



第1回の講師
川口啓子健康福祉短大教授

最後に事務局より「事務系職員自主学習会」ではなくもっと親しみやすい名前を募集しています。

ネーミング募集中

握手を交わし、会場いっぱい参加者から大きな拍手が起りました。

みなさんの手で、力で、堺を守り、そして堺の未来をつくっていきましょう！

一回目は、清水人事部長より「人事・労務管理について」。今後も、多彩な講師陣を迎え、多角的に学習できるよう構成していきます。

これからの予定 場所はいずれも同仁会本部3階にて 18時30分～

日時	内容	講師
第4回目 9月8日(金)	民医連運動によって立つところの情勢と時代認識	全日本民医連副会長 長瀬文雄氏
第5回目 9月29日(金)	会計の基本	同仁会本部財務部課長 植田恒平氏

*第6回目以降 (12月まで月2回のペースで行う予定ですが日程及び内容、講師は検討中です)
*参加は自由ですが事前にご連絡 (同仁会本部：石井・田中・田村) 頂ければ幸いです

事務系職員自主学習会
事務職員
有成果として
気軽に参加してね

連載 耳原総合病院建替事業 にみる協同の思想

その9

立命館大学産業社会学部教授
都市社会学者・同仁会理事 リム・ボン

(前号よりつづき) 筆者はここにもシンボリックな壁画が必要ではないかと提起した。このプロジェクトについては田代副理事長ならびに富山清二理事のご尽力によって中島裕司画伯が担当されることとなった。

2015年7月26日、旭ヶ丘会館にて内壁画のあり方についてのシンポジウムとワークショップが開催され、これを基に中島画伯が制作イメージを構築することとなった。参加者は50名であった。さらに、セラチア感染事件を教訓とした医療安全モニユメントを彫刻家の田村勉氏に依頼し制作することを田代副理事長が提起し、承認された。

この学習会は、法人の存続・より発展した組織となるためには、事務職員(特に若手)の育成が必要であるという観点から企画されました。

「概ね「事務」と括弧でも、日々の業務は多岐にわたります。第1回では事務労働の本質を考え、日々の事務的業務が組織を最適に機能させるためである、ということとを川口啓子教授(健康福祉短大)に講義していただきました。第2

※文章中の肩書は当時のものです。



地域交流ゾーンの外観がシンボリックであることは言うまでもないが、ふれあいエントランスから入った一階ホールは大空間であり、6・5m x 10mの壁面があ

10. 地域交流ゾーンの 内壁画